

率的な財政運営を

適正で効

平成25年度予算

3月定例会は2月26日から3月21日までの会期で開催され、25年度の予算を中心に、条例案や人事案件等を審議しました。
 予算は、予算審査特別委員会を設置して審査され、本会議においてすべての会計で可決されました。

歳入

町の主要事業を行う一般会計の、依存財源の大きな割合を占める地方交付税・県支出金・町債などは減少し、臨時財政対策債や財政調整基金からの繰入金などによる補てんが継続されました。



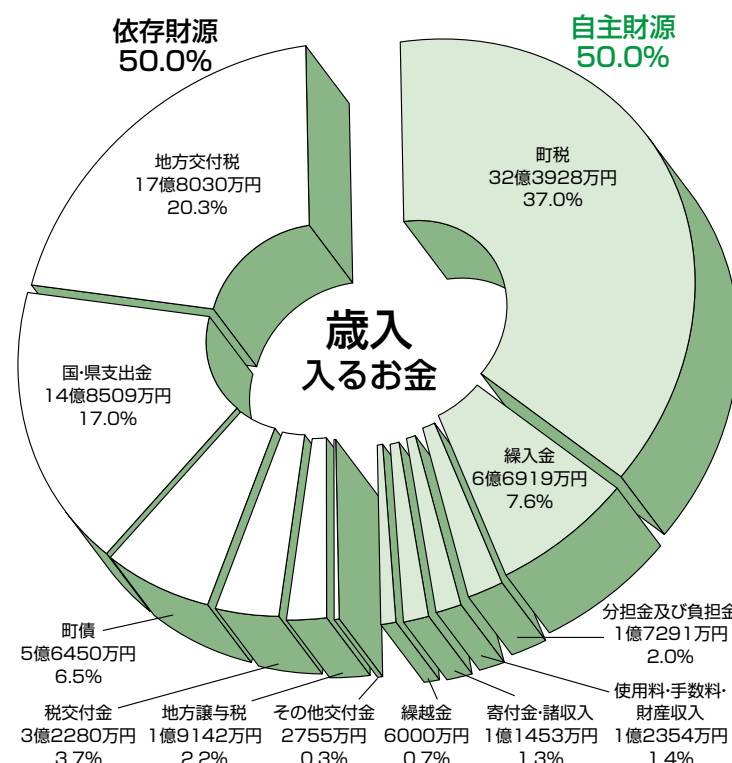
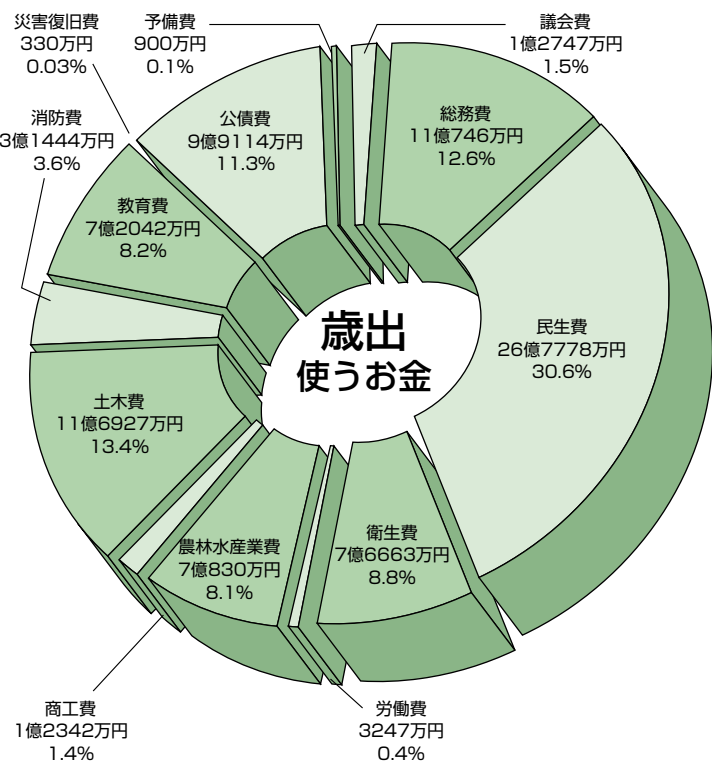
順調に工事が進む駅前地区

歳出

歳出においては、衛生費・農林水産業費・土木費などが増加したものの、総務費・民生費・教育費などは減少しました。
 予算の大幅な減額は、矢巾中学校移転改築事業の完了に伴い、教育費が減少したことによるものが大きく、約5億4600万円の減となっております。

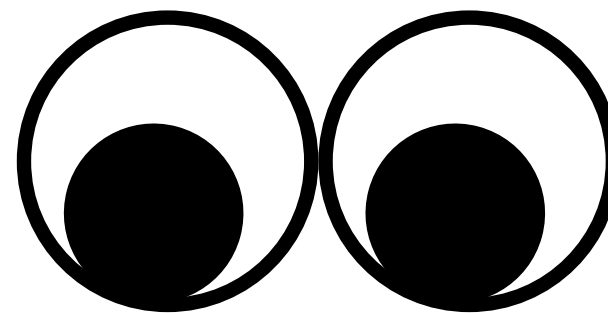
一方、矢幅駅周辺土地区画整理事業における工事が一昨年から本格的に始まり、平成27年の完成に向け、事業の推進が期待されていることから、特別会計への繰入金として、約3億7600万円が一般会計から支出されました。
 今年度の主な事業の内容と特別会計については、次ページをご覧ください。

一般会計 87億 5110万円の内訳



財源区分	名称	解説
自主財源 (地方自治体が自らの権限で収入できる財源)	町税	地方自治体が直接徴収する税。個人・法人町民税、固定資産税、軽自動車税など
	繰入金	基金繰入金は預金等を取り崩すもの
	繰越金	前年度の残金
	分担金及び負担金	特定のサービスを受益する者から徴収するもの。保育所運営費負担金など
	使用料・手数料・財産収入	使用料、財産収入は町の財産から得られるもの。手数料は諸証明交付手数料など
依存財源 (国・県など他からの収入に依存する財源)	寄付金・諸収入	諸収入はほかに分類されないもの。延滞金や電気使用料など
	地方交付税	一定の基準で算定した支出より収入が少ない場合に国から交付されるもの
	国・県支出金	国や県からの補助金など
	町債	財務省や銀行などからの借入金
	税交付金	都道府県が徴収した税のうち、市町村に交付するもの
地方譲与税	国が徴収した税のうち、地方公共団体に譲与するもの	
その他交付金	国策による減収や特定の経費に充てるために国から交付されるもの	

平成25年度予算



目玉事業

煙山地区暗きょ排水工事着手 9350万円

農業体質強化基盤整備促進事業として、煙山地区の暗きょ排水工事に着手します。



畑作にも対応する暗きょ工事(不動地区)



さわやかハウスの太陽光発電

再生可能エネルギー設備導入事業として、役場庁舎及び盛岡・紫波地区環境施設組合(ふれあい館)に太陽光発電設備を設置します。

太陽光発電設備を導入 5394万円

認定こども園開園へ 2743万円

矢巾中央幼稚園が矢巾認定こども園としての運営開始を予定しています。

※認定こども園とは

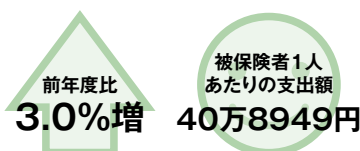
就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能および地域における子育て支援を行う機能を備え、都道府県知事から認定を受けた幼稚園・保育所等。



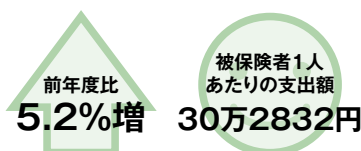
矢巾中央幼稚園

特別会計・企業会計の予算額

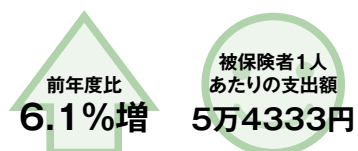
国民健康保険事業特別会計
23億8949万円



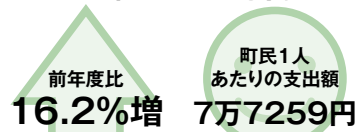
介護保険事業特別会計
16億7981万円



後期高齢者医療特別会計
1億5186万円



矢幅駅周辺土地地区画整理
事業特別会計
20億6421万円



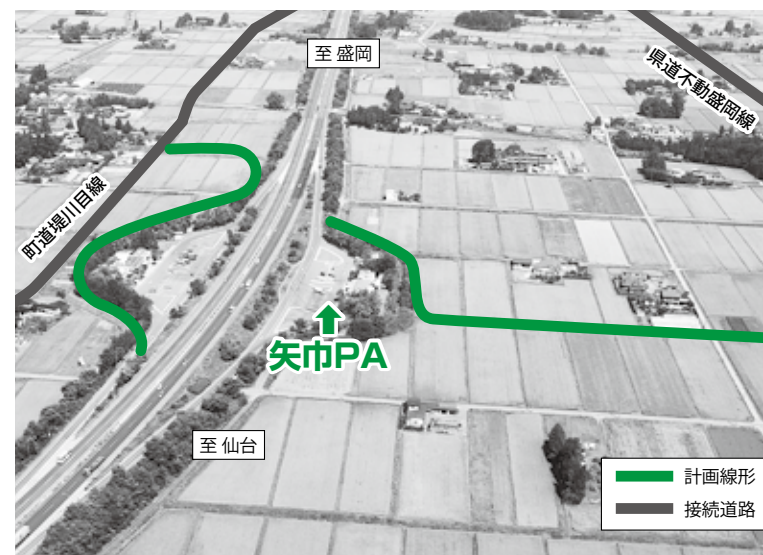
水道事業会計

収益的支出 **5億4694万円**
資本的支出 **3億6652万円**

下水道事業会計

収益的支出 **10億2608万円**
資本的支出 **9億7231万円**

1人あたりの金額は、3月1日現在の総人口および被保険者数から算出しました。金額は四捨五入のため、合計額と一致しない場合があります。
水道・下水道事業会計は複式簿記によって会計処理を行う企業会計なので、表記の方法が異なります。



スマートICが予定されている矢巾PA

矢巾スマートIC(インターチェンジ)整備事業として、本年度は安庭線・堤川目線等の道路整備に係る測量設計業務などを行います。
※スマートICとは
通行可能な車両をETC車載器を搭載した車両に限定し、高速道路の本線やSA・PAなどから乗り降りができるように設置されているインターチェンジ。

スマートIC設置に向けて 8193万円

質疑

予算審査
特別委員会

白熱

歳入

昆 ご当地ナンバーを導入し、税収増や町をPRしていく考えはないのか。

総務課長 平泉では導入を検討しており、本町でも現在盛岡広域の中で検討中である。

小川 岩手医科大学からの税収は全くないのか。

税務課長 医大は学校法人であるため法人税はないが、食堂などの医大経営ではない部分の固定資産税等は納めている。

廣田 地方交付税の前年度減の理由は。

企画財政課長 国の地方財政計画に伴う減となっている。



活躍が期待される消防団員(出初め式)

総務

予算審査は、議長を除く17人の委員で構成された特別委員会(山崎道夫委員長、米倉清志副委員長)を設置して審議しました。

藤原(由) 長期的な防災計画や常備消防の考えについて。

総務課長 避難所(小中学校)に発電機などを備える。消防団員は現在280名で定員の75%なので、各自治会に2名ずつの増員を要請している。消防団の確保は重要と捉えており、今後も募集活動に力を入れていく。

矢巾分署は、消防署昇格を目指す。

藤原(梅) 太陽光で発電した電気を売電する予定は。

総務課長 非常災害用として蓄電する目的であり、余剰電力は庁舎内で使用し、年間約20万円ほどの節電効果がある。売電する予定はない。

村松(信) 投書箱に寄せられた町民の声を、町政にどう反映させているか。

企画財政課長 広報に掲載し町政にも反映させており、職員にも周知し対応している。

昆 町長・議長の交際費を公開すべきでは。

総務課長 現在検討しているところである。

川村(農) 職員のネームプレートが見えづらいという声を聞くが、改善しては。

総務課長 見えづらいというのは初めて聞いたが、今後見直しを含め検討していく。

産業・建設

齊藤 松くい虫被害の処理・防除体制は。

農林課長 被害木の処理は全て実施し、樹幹注入は半額補助とする。

言生 観光資源としての西部地区に對する取り組みが弱く、特に周辺のトイレ・看板等の改善が急務ではないか。

町長 史跡徳丹城と西部地区を立体的に結び付ける観光整備を、第7次総合計画で検討したい。トイレ等の整備は早急に検討したい。

村松(信) 町が行う舗装工事と協働の道づくりとの費用と耐久性の差は。

道路都市課長 1区あたりの普通単価1万3900円に對し、協働の道づくりは約2600円と安くできるが、耐久性は劣る。

藤原(梅) 放射能被害によるシイタケの原木処理と今後の調達は。

農林課長 3万1000本の運搬・焼却を国の負担で行っている。

原木の調達はJAを通し約8割の目途がついている。

高橋 プレミアム商品券のスーパーと地元商店との使用比率は。もっと個人商店等で使われるようにできないか。

商工観光課長 前回は大型店64%、地元商店36%であった。商工会と連携しながら個人商店等で使ってもらうようにしたい。

小川 6次産業化推進団体費

村松(輝) 小型除雪機の増備1台はどこに貸し出しするのか。また、排雪に軽ダンプを貸し出しては。

道路都市課長 矢巾・南矢幅の6行政区において3台で対応していることから、その行政区にもう1台を考えている。軽ダンプの貸し出しについては今後検討する。

で、加工を町外に委託するのはなく、町内産のものをジュースにする工場などを作っては。また個人への補助は。

農林課長 今の予算は起爆剤であり、リーダー養成の予算化である。工場については、まずは販路を確立してから推進していく。個人への補助は活動と取り組みはないが現状を見て検討したい。



矢巾温泉郷の案内看板



伝統のみそ作り(さんちゃん矢次グループ)

どう使う

みんなのお金

教育・文化

福祉・環境

米倉 カラスが多く迷惑しているが、有害鳥獣駆除を行う猟友会の補助を増やし、駆除に力を入れては。

農林課長 猟友会の人数が少なく、駆除が難しくなっている。特別措置法に伴う計画を策定中である。

昆 タクシー料金の値上げに伴う、福祉タクシー利用者への対応は怎么样了か。

生きがい推進課長 タクシー料金を値上げした場合は、対応していく予定である。

村松(信) こすかた保育園の体調不良児保育の内容は。

学務課長 保育園内での体調不良による児童1人に対して職員1人か2人を配置し、1階のクリニックと連携して病児の保育を行う。

昆 保養センター入浴料の福祉割引導入は。

生きがい推進課長 福祉割引は、地域懇談会でも要望があったことから、検討しているところである。

川村(よ) 乳幼児医療費の支払いを、本人が立て替え払いをするのではなく、直接支給にできないか。

住民課長 通院費750円、入院費2500円分は立て替え払いをお願いしているが、県の補助ベースに従っている。今後要望はしていく。



オール電化の調理場(給食センター)

藤原(由) 給食センターの費用削減のために、節電・節水・太陽光発電・無洗米の導入などのエコ対策をしては。

学務課長 調理場はオール電化であり電力使用量が多く、装置の規模から今すぐの導入は難しいが、情報収集し検討していく。無洗米については値段が高く難しい。

村松(信) 出前講座はどのくらい依頼があるのか。

社会教育課長 昨年度は16件あり、24年度は現在10件である。今後内容も含め見直しを考えている。

齊藤 徳丹城跡の川村運河の整備を進めるべきでは。

社会教育課長 道路・水路について、全体的な整備の中で検討していく。

特別会計

川村(よ) 国保税が払えない人の実態をどのように把握しているか。

生きがい推進課長 毎年、町社会福祉協議会において福祉

調査を行っている。町の看護師も調査を行っているが、滞納者の実態はわからない。

小川 駅前複合ビル建設費の消費税増税分の試算と、複合ビル内への図書ルーム総合移転の計画は。

区画整理課長 消費税増税分

は約1億2000万円と試算しており、工事費と用地代を安くできるように節約を期す。6月までに方向性を決め、町民の意見を聞いた上で下半期から実施設計に入る予定である。図書ルームについては、移転に対する補助がもらえるか判断していく。

水道・下水道

川村(よ) 水道料金と下水道料金の基本料金を下げても

上下水道課長 水道の基本料は利用に関係なく必要な料金である。他の利用者の負担になり下げる考えはない。下水道の現在の基本料は、

国の基準に沿って基本水量を設定している。料金の改定時であれば、この基本水量見直しは検討可能である。

芦生 築川ダムの水利権を取得しているが、医大附属医院



安定供給に寄与する西部浄水場

開院との関連で、その使用が必要となるのではないか。

上下水道課長 築川ダムの完成は平成32年度の予定であり、医大附属医院には、西部から供給区域を増やすことで対応する。

となったことにより赤字となっているが、料金の値上げはあるのか。

上下水道課長 減価償却費を費用化したことにより、赤字となる見込みであるが、経営は可能である。料金の改定は、今後の数値を見ながら判断したい。



現在の町図書室(町公民館内)

審査報告

予算審査特別委員会委員長 山崎 道夫

健全経営に努められたい

一般会計予算は約4億9000万円減となったが、慎重な財政運営を心がけ、効率的で効果的な健全経営に努められたい。

新規事業である「矢巾スマートIC」設置は、本町の発展に大きく寄与すると期待されており、早期着工・完成に向け鋭意努力されたい。

厳しい状況にある農業は、複合経営を取り入れた矢巾型農業の実現に向け、積極的な取り組みを進めるとともに、原発事故による風評被害の支援対策を強く望む。

国民健康保険事業は、ジェネリック医薬品の普及拡大と本事業への理解を深めるための施策を講じられたい。
矢幅駅前地区土地区画整理事業は、順調に工事が進んで



議長に審査報告書を提出する正・副委員長

いるが、27年完成に向け万全を期されたい。

下水道事業会計は、公営企業会計に移行するが、適正かつ効率的な経営に努め、施設の随時更新や修繕を行うなど維持管理に万全を期されたい。

補正予算

補正予算は一般会計と6特別会計、水道事業会計で計上され、一般会計補正予算は、約1億1839万円を追加し、総額約106億7219万円となりました。

主な内容は次の通りです。

主な歳入

▽法人町民税

2億2698万円

▽矢巾町テレビ共同受信施設組合精算金

793万円

主な歳出

▼除雪事業

1150万円

▼里山再生松くい虫被害特別対策事業業務委託料

256万円

繰越明許費

一般会計で約10億7424万円、矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計で約8億7393万円が、平成25年度に繰り越されました。

主な事業は次の通りです。

○再生可能エネルギー導入事業

1億 81万円

〈設置施設〉

- 勤労者共同福祉センター
- 農村環境改善センター
- 農業構造改善センター
- 防災コミュニケーションセンター

○北高田・不動保育園整備費補助事業

3億 531万円

○矢幅駅周辺土地区画整理事業

2991万円

○矢幅駅前地区事業

8億4402万円

生活重視の予算に

公共事業を見直し、国民健康保険税の引き下げを行うこと。子育て世帯の可処分所得が年々減少している中で、子育て世帯を支援強化すること。介護保険制度の充実と後期高齢者医療制度を廃止し、高齢者世帯でも安心して暮らせる支援強化を求める。以上の対策が不十分であり反対する。

川村 よし子

反対

知恵をしぼった開発を

旧矢巾中学校校舎の解体予算は、町民の貴重な共有財産という視点がなく、旧校舎の利用ができないとする当局の説明は問題がある。
矢幅駅多目的ホール設置は、町民ニーズに合わないことと反対してきたが、さらに区画整理事務所が入居する費用460万円の予算は認められないことから反対する。

小川 文子

町の発展を大いに期待

商工業振興は、矢幅駅周辺土地区画整理事業の中で、今後商業集積化が進むことから、町の発展につながり大いに期待する。
農業政策は、農業体質強化策や機械設備・法人化に向けた支援など高く評価する。以上のことから、費用対効果を勘案しながらの基本的な方針に賛成する。

村松 信一

賛成

教育振興費の充実を評価

小学校教育振興費を中心に復興教育などが充実しているとともに、社会教育費では「笑顔の架け橋事業」や3年後の若手団体開催に向けての対策等大いに評価する。
教育費・民生費と国保・介護の各特別会計や被災地の復興・復興に向けた予算など、適時・適切な予算執行を期待していることから賛成する。

藤原 由巳

町道廃止・認定

南昌トンネル線の県道昇格事業等に伴い、町道路線の廃止及び認定を議決しました。

人事案件

固定資産評価
審査委員を選任

条例

新型インフルエンザ等対策本部条例

教育委員を選任



きた 北 邦男 さん(新) (白沢行政区)



こし 越 秀敏 さん(新) (広宮沢1区)



被害松の伐採(太田神社)

重点目標を定め 精力的に取り組む



滝沢村議会を視察

平成24年12月定例会において、議員発議で設置された議会改革特別委員会は、議会の仕組みを見直し活性化を図るため、議員一丸となって取り組むことを確認し、この間、紫波町議会、滝沢村議会、盛岡市議会の先進地視察研修を行い、議会改革に向け精力的に活動を行ってきました。具体的には短期、中期、長期に分類し、それぞれ重点目標を決めて改革に取り組んでいくことにしています。

- 《短期実施の重点目標》
- ① 常任委員会のあり方
 - ② 議員間討議の実施と全員協議のあり方
 - ③ 議会報告会について
 - ④ 会派制について
- 以上、議会改革に向けた取り組みの経過報告ですが、今後も議会だよりで、取り組み状況について報告させていただきます。

みなさんからの請願

▽「生活保護基準の引き下げはしないこと」の意見書提出を国に求める請願

▽消費税増税に反対する請願 暮らしを考える

矢中生活と健康を守る会
会長 小山 富男さん

代表 高橋 克公さん
ネットワーク

全員賛成

総務常任委員会 継続審査

採択

▽所得税法第56条の見直しを求める請願

審査意見

総務常任委員会 継続審査

金銭的に困窮し暮らしていけなくなった時、最後の頼みの綱となるのが生活保護という制度である。支給基準の引き下げは、受給者にとって大きな負担となる。また最低賃金や年金など、他の制度に波及し、受給者以外の者にも影響を及ぼすことにつながりかねないことから、引き下げるべきではないと考える。

これらの請願については、税と社会保障の一体改革として議論されているものであり、国税の根本に関わることから、国の動向を見極めながら継続審査することとしました。

各議案の採決状況

平成25年第1回臨時会（1月）

議案番号	提出議案	議員名	齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	尾秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子	米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	採決結果	
議案 1号	訴えの提起（介護給付費等の損害賠償請求）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 2号	平成24年度矢中町一般会計補正予算（第7号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 3号	平成24年度矢中町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

平成25年第1回定例会（3月）

議案 4号	矢中町固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 5号	矢中町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 6号	矢中町税条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 7号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 8号	矢中町立都市公園条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 9号	矢中町コミュニティ施設に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案10号	矢中町道路占用料に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案11号	盛岡広域都市計画下水道事業矢中公共下水道受益者負担に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案12号	矢中町個人情報保護条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案13号	町道路線の廃止に関し議決を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案14号	町道路線の認定に関し議決を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案15号	平成24年度矢中町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案16号	平成24年度矢中町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案17号	平成24年度矢中町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案18号	平成24年度矢中町下水道事業特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案19号	平成24年度矢中町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案20号	平成25年度矢中町一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案21号	平成25年度矢中町国民健康保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案22号	平成25年度矢中町介護保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案23号	平成25年度矢中町後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案24号	平成25年度矢中町矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案25号	平成25年度矢中町水道事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案26号	平成25年度矢中町下水道事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案27号	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案28号	道路の管理に関する事故に係る損害賠償請求事件の損害賠償額を定め和解をすること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案29号	紫波町・矢中町障害者程度区分認定審査会共同設置規約の一部変更の協議に関し議決を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案30号	平成24年度矢中町一般会計補正予算（第8号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案31号	平成24年度矢中町矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案32号	平成24年度矢中町水道事業会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案1号	矢中町議会委員会条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案2号	矢中町議会会議規則の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案3号	「生活保護基準の引き下げはしないこと」を国に求める意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

注：藤原議長は採決に加わらない。



やがみ 谷上 さとし 議員

高齢者施設の待機者数は

在宅での待機者 40 人ほど

質問 岩手県の特別養護老人ホームで、一施設あたりの平均待機者は150人余りとなっているが、本町の高齢者施設（介護老人保健施設など）の実態と待機状況を問う。

町長 各施設の2月時点での待機者は介護老人保健施設の敬愛荘が60人、シェーンハイムやはばが64人、特別養護老人ホーム志和荘が106人となっているが、待機者の中には入院中や他の施設に入所中の方もおり、実際在宅での町内待機者数は40人ほどである。

質問 高齢者福祉施設の建設等について、今後どう対応するのか。

ズバリ 町政を問う



一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。3月定例会では9人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

- 谷上 哲 議員……………P15
 - ①高齢者福祉施設について
 - ②女性の就業支援について
 - ③いじめ・体罰について
 - ④教育振興運動について
- 米倉 清志 議員……………P17
 - ①旧矢巾中学校跡地利用について
 - ②企業誘致と町有地の活用について
- 川村 よし子 議員……………P19
 - ①義務教育の充実について
 - ②児童館・（仮称）高齢者生きがい施設・図書館・資料館の充実について
 - ③福祉灯油助成について
- 小川 文子 議員……………P21
 - ①旧矢巾中学校校舎の解体について
 - ②町営住宅政策について
 - ③より安全な給食を目指すことについて
- 藤原 由巳 議員……………P23
 - ①教育行政方針とその具体策について
 - ②施政方針及び当初予算案について
- 村松 信一 議員……………P16
 - ①平成25年度当初予算について
 - ②矢巾型農業の振興について
- 山崎 道夫 議員……………P18
 - ①ウエストヒルズ広宮沢の事業完了に向けた取り組みについて
 - ②旧矢巾中学校跡地活用について
- 昆 秀一 議員……………P20
 - ①体罰の実態と防止について
 - ②高齢者施設及び住宅の防火対策について
 - ③クリーンエネルギー自動車の推進について
 - ④コミュニティ放送について
 - ⑤若手町職員の育成について
- 藤原 梅昭 議員……………P22
 - ①東日本大震災への本町の対応状況について
 - ②体育振興について
 - ③財務状況について

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しております。

町長 今後の要介護認定者の増加やサービス利用の需要を見極めた上で、第6期介護保険事業計画策定時に検討していく。

質問 児童館の利用について、女性の就業支援の観点から「登録児童」の学年引き上げを望む声が多く聞かれるが、児童館の利用状況を問う。

町長 3月1日現在、登録児童は小学1年～3年生が対象で、5つの児童館で合計270人であるが、自由来館の児童は小学1年～6年生まで237人となっており、使用料はいずれも無料である。

児童館登録の学年引き上げを 施設規模から 現状では困難



放課後を楽しく過ごす子どもたち(矢巾東児童館)

町長 施設規模と財政負担の面から現在のところ引き上げは考えていないが、昨年8月のいない家庭の児童)について、現在3年生までとなっているが、学年引き上げの考えはあるか。

に成立した「子ども・子育て関連3法案」により、放課後児童クラブの増加および対象児童を6年生まで拡大することが盛り込まれており、今後、制度施行時期を注視し、適正な対応に努めていきたい。



よねくら きよし 議員
米倉 清志

専門学校開設を前向きに

若者が集い町が活性化

質問 旧矢巾中学校跡地利用について問う。
龍澤学館からの看護学系専門学校開設の提案は、前向きに検討すべきと思うがどうか。

町長 専門学校が開設された際の地域への経済波及効果は、約3億2400万円と推測され、活用を期待している。

質問 専門学校進出の計画は、学園都市としての発展の礎になると思うが、所見は。

町長 若者が集うことで活気がみなぎり、町の活性化に寄与するものと考えている。

質問 校庭や夜間照明灯の活用は。

町長 関係機関・町内既存企業訪問により、施設の拡張や関連企業の企業立地の情報収集をしている。

質問 情報収集や誘致活動の予算を増額し、全力をあげるべきでは。

町長 グラウンド・夜間照明施設は町民のための運動場として活用する。

質問 専門学校の開設による効果は。

町長 若者の交流人口・定住人口の増加や、地域への還元を期待している。

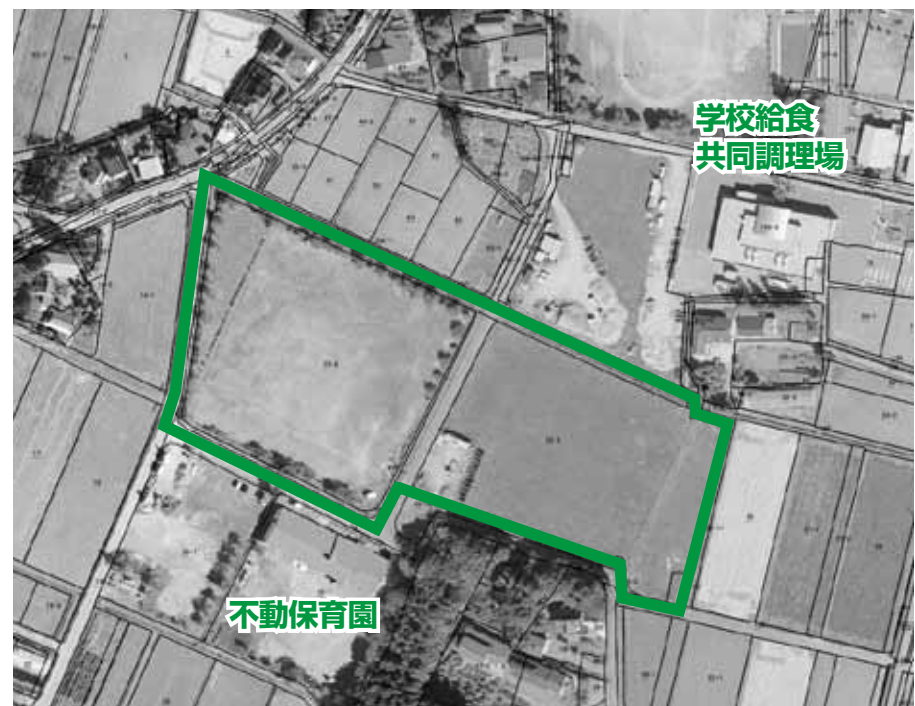
質問 企業誘致と町有地の活用について問う。
企業誘致状況や情報活動は。

室岡の町有地活用は

地域と議論していく

町長 昨年と比較して94万7000円増額した。情報収集に努め、保留地の完売を目指して企業誘致を図る。

質問 室岡地区の町有地3ヶ所に、屋内運動場も兼ねた施設等整備の提案について問う。



活用が望まれる室岡の遊休町有地

町長 当該地は市街化調整区域であり、農業振興地域となっている。農業関係以外の開発はできない地域ではあるが、農畜産物の販売加工等建設可能な施設もあるので、地域の皆さんと議論していく。



むらまつ のぶかつ 議員
村松 信一

原発による農畜産物被害は

被害額は約9100万円

質問 施政方針を受け平成25年度予算について問う。
財政健全化の取り組みは。

町長 自主財源の74%を占める町税の確保に努め、国・県の補助事業を最大限活用する。

質問 広宮沢第二土地区画整理事業において、保留地の売却の実態と雇用機会創出の効果は。

町長 保留地の業務系は32区画のうち20区画、住居系は66区画のうち43区画が販売済み。雇用人数は1140人のうち町民が254人となっている。

質問 農畜産物の原発事故に



厳しい環境のなか頑張る畜産農家

町長 被災額は畜産関係では1211件で約2400万円、原木シイタケが29件で約6770万円、JAなどの指導により賠償請求を行っている。現在までの補償額は畜産が1744万円、シイタケが5284万円である。

質問 特定健診、特に若年層の受診率向上の対策は。

町長 診療機関での個別健診や、夕方からのナイト健診を実施するなど受診環境を整備する。

質問 農業基盤整備事業等の予算措置と事業効果は。

町長 水田の畑作化に対応するとともに、複合経営を推進する地域に暗きよ工事を行う。

質問 岩手医科大学附属病院への食料供給基地として、6次産業化を目指す矢巾型農業について考えを問う。

町長 食材を提供している業者等からの情報収集に努めながら、農協との事前協議を基に、商工関係者との連携を含めた生産組織協議会的な組織の設置を検討していく。

医大病院への食料供給を
生産組織協議会の設置を検討

町長 被害額は畜産関係では1211件で約2400万円、原木シイタケが29件で約6770万円、JAなどの指導により賠償請求を行っている。現在までの補償額は畜産が1744万円、シイタケが5284万円である。

町長 診療機関での個別健診や、夕方からのナイト健診を実施するなど受診環境を整備する。

町長 水田の畑作化に対応するとともに、複合経営を推進する地域に暗きよ工事を行う。



かわむら 川村 よし子 議員

少人数学級の推進を

35人を超える場合は検討

質問 子どもの貧困が深刻になる中、本町の学校教育の諸施策を問う。
生活保護基準の引き下げによる就学援助制度に影響は出るか。

教育委員長 平成25年度は国の取り扱いに準じて対応する。

質問 県教育長が小学校3・4年生の少人数学級の充実を表明したが、本町はどうか。

教育委員長 来年度本町の小学校3年生に35人を超える学級は見込まれていないが、今後超える場合は導入の方向で検討していく。



希望を胸に巣立つ子どもたち(煙山小学校)

質問 子どもが中心の「命を大切に教育」として、いじめ防止対策をどのように取り組んできたのか。また今後の対応は。

教育委員長 道徳の時間や学級活動等により、個々を認め

合う人間づくりと、いじめが起こりにくい環境づくりを進めてきた。
今後は引き続きアンケート調査を実施するなど、一層のいじめ防止対策に取り組んでいく。



やまざき 山崎 みちお 議員

旧矢市中跡地の活用白紙が

教育施設と運動場で活用



跡地活用が望まれる旧矢市中体育館

質問 旧矢市中跡地の利用は白紙と理解しているのか。

町長 龍澤学館が開設するとしていた私立中学については取り下げられたが、新たに医療系、福祉系の専門学校を開設できないかと提案があった。

町の利益に資する観点から、教育施設としての活用が望ましいと期待している。

質問 今こそ町民アンケートを実施し、町民の意に沿った活用方法を考えるべきでは。

町長 さまざまな方からの提言があった中で、町の利益に資することから検討し、教育施設が望ましいと考えていた。専門学校も教育機関の一つであり、町民の理解が得られるものと考えアンケート調査は考えていない。

質問 屋内スポーツ施設やジヨギングコースなどの整備は検討できないのか。

町長 地域経済への波及効果などにより、町の活性化につながるよう教育施設としての活用が望ましいと考えている。旧体育館跡地利用については、屋内スポーツ施設も含め検討していきたい。

ウエストヒルズ用途変更は

要望があれば協議し進める

質問 ウエストヒルズ広宮沢の土地販売は、業務系・住居系合わせて約45%が残地となっている。

借入金約22億円で、まだ約9億円の借入残があり、組合にとって大きな負担になっている。

保留地販売は、特別業務地区のため事業系の販売が進まないが、今後社会的ニーズに合わせ用途規制を変更できないか。

町長 同地区は北東北の拠点都市を目指し特別業務地区として位置付けられていて、流通業務でしか活用できない。今後変更等の必要が生じたときは、県、盛岡市とも協議し変更手続きを進めたい。

煙山児童館の過密解消は

27年度までに分離予定

質問 煙山児童館は過密化していることから、旧矢市中校舎を利用できないか。

町長 煙山小学校周辺に平成27年度までに分離する予定。

質問 (仮称) 高齢者生きがい施設を考へては。

町長 自ら通える距離にある自治公民館等を、地元の支援のもと活用してほしい。

質問 図書館や資料館に旧矢市中中の建物を利用できないか。

町長 図書室は矢幅駅前地区に建設予定の複合施設に総合移転を検討している。資料館は現歴史民俗資料館で対応可能である。

一般質問 町政を問う

一般質問 町政を問う



おがわ 小川 議員

旧矢巾中施設の有効活用を

全て取り壊す計画

質問 旧矢巾中跡地を原点に立ち返り、町民の声を聞き有効活用するため以下問う。
旧矢巾中学校舎の解体費用は、

町長 校舎・体育館・プール等全ての解体費用は約1億7000万円である。

質問 校舎・体育館の耐震性はどうか。

町長 西側校舎の一部を除き、規定構造耐震指標0.7をかなり下回っており問題がある。

質問 北側校舎・プールは有効活用できないか。

町長 文科省の補助金で移転建設したが、私立中活用の特

教育委員長 ガイドラインの活用で、担任教諭が情報共有しながら児童への教育指導を行っている。

質問 教職員の研修及び児童へのアレルギー教育は、

教育委員長 毎年年度調査を実施し、平成24年度は81人で、弁当持参は64人、アレルギー除去食を必要とする生徒は17人であり、個々の状態に応じ対応している。

質問 より安全な学校給食を旨指すために以下尋ねる。
アレルギーを持つ児童への対応は、

安全な給食への対応は
アレルギー状態
個々に対応

町長 例措置に該当しなくなったため、取り壊しが必要。



おいしい給食いただきます(徳田小学校)

質問 放射性物質検査状況は、

教育委員長 昨年から測定し、全て不検出である。結果はホームページに掲載している。

質問 給食の誤嚥対策は、

教育委員長 食事時の姿勢や

質問 アレルギー事故の際は、早期に救急車対応が必要では、

教育委員長 救急車の対応も

高齢者施設の夜間人員体制は

要保護者の数からは不足



こん 昆 議員



コミュニティ組織による救助訓練

質問 近年グループホーム等での火災で、お年寄りが犠牲になる惨事が起きているが、高齢者施設のスプリンクラー設置状況と夜間の人員体制は、

町長 消防で義務付けしている施設以外は未設置である。

要保護者の数からは、夜間の人員体制は不足していると思われるが、町としては近隣住民の協力を得られる体制づくりを要請している。

質問 火災による死者のうち、65歳以上の方が6割以上を占めているが、今後、高齢者世帯が増加する中、防火対策に力を入れていくための方策は、

町長 地元消防団や盛岡南消防署の訪問による予防広報や防火指導を行なっている。さらに災害時要支援者名簿の作成などの整備を進め、各コミュニティや自主防災組織の協力で防火対策を進める。

エコカー導入に補助制度を

町独自では考えていない

質問 エコカー普及拡大に向

け、導入補助制度やインフラ整備を行い推進すべきでは。

町長 本町独自の導入補助及びインフラ整備について現段階では考えていない。国や県の動向を見ながら補助制度や新エコカー減税等についての情報提供を行い、販売店と協力したイベント等を開催し、普及拡大に取り組んでいきたい。

質問 新エネルギービジョンの重点プロジェクトにおいて、公用車のエコカー導入率を平成32年までに100%に設定しているが、その計画は、また町民や事業者のエコカー導入率についても明らかにされたい。

町長 走行距離、経年劣化、財政事情等を考慮し、公用車を更新する際はエコカーとする推進目標である。町民や事業者のエコカー普及状況は本町の統計はないが、県の普及率は3.7%となっている。



ふじわら よしみ 藤原 由巳 議員

徳田小学校の移転は

移転するかどうか検討



町内小学校の陸上記録会(紫波町運動公園)

質問 小学校の大規模校と小規模校では、運動能力に格差が生じているのでは。

教育委員長 体力・運動能力テストで全ての学校の小学6年生ではほぼ全国平均である。

復興加速年の対応策は

さらなる継続支援に努める



ふじわら うめあき 藤原 梅昭 議員

質問 復興加速年である本年の対応策を問う。

東日本大震災の被災地支援及び避難者の受け入れ状況は。

町長 釜石市に職員1名派遣、保健活動に延べ5名を派遣し、来年度も被災地に1名派遣する。避難者の受け入れは3月1日現在51世帯72名である。

質問 大槌町のガレキ処理状況は。

町長 2月末現在2946トで計画の41%である。

質問 脱原発に向けた省エネルギー・再生可能エネルギーの推進は。

町長 原発依存度を下げる事業の推進並びに、家庭・公共施設の太陽光発電・メガソーラー施設設置、省エネルギーについては、ビジョンに掲げている目標値に向けて取り組む。

町長 膨大な経済波及効果と雇用の創出は、被災地復興の大きな後押しとなることから、岩手県の誘致活動に協力をし、気運の醸成に努める。



被災地で奮闘する本町職員(釜石市役所)

欠かせない「LCC計画」に対する取り組みは。

町長 膨大な経済波及効果と雇用の創出は、被災地復興の大きな後押しとなることから、岩手県の誘致活動に協力をし、気運の醸成に努める。

運動施設が大変不足 紫波町の施設も 利用できる

質問 健全な体を維持増進するには、運動施設が大変不足しているがどう考えるのか。

町長 紫波町との協定による運動施設の活用と、町内中学校体育施設を利用する。

質問 岩手国体で本町実施予定の、スポーツチャンバラとラジオ体操の推進は。

町長 競技の普及や用具整備と選手・指導者育成に努める。

質問 釜石市で誘致活動が盛んな「ラグビーワールドカップ」への支援対策は。

町長 釜石市、岩手県ラグビー協会や近隣市町村の動向を見ながら検討していく。

質問 3年後に予定されている岩手国体のカヌー競技の選手強化は。

教育委員長 不來方高校出身の大学生、一般選手をふるさと選手として招へいする。また盛岡市立高校にカヌー部設立を要望する。

質問 徳田小学校の移転計画は今後どう進めるのか。

教育委員長 耐震補強改修を行ったばかりで、移転するかどうかも含め検討を進める。

旧矢巾中学校舎の解体は

新年度で解体する

質問 歳入の税収と各種交付金の対前年度増額の根拠と今後の見通しは。

町長 一部扶養控除の廃止や

特別徴収により、課税分が増加した。今後の見通しは、大きな伸びは見込めない。

地方譲与税・地方消費税交付金・自動車取得税交付金は増額見込みである。

質問 24年度補正予算と25年度当初予算で取り組む事業は。

町長 補正予算では松くい虫対策事業に、当初予算では農業基盤整備事業やスマートICなどの事業に取り組む。

質問 旧矢巾中学校舎は治安対策上速やかに解体し、更地化することを望む。

町長 私立中学開設が取り下げられ、校舎の活用ができなくなり新年度で解体する。

質問 その後の利活用として、医療・福祉専門学校の計画は。

町長 専門学校開設のメリットとして地域に大きく還元されるものと捉え実現を期待している。

一般質問 町政を問う

一般質問 町政を問う